

テールアルメ工法

施工要領書

コンクリート架台

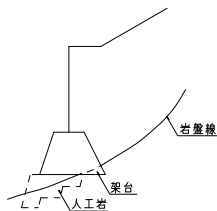
J F E 商事テールワン株式会社

## 目 次

1. コンクリート架台の施工留意点	-----	1
2. 基礎地盤の確認	-----	1
3. コンクリート架台延長の確認	-----	1
4. 施工上の注意点	-----	2
(1) 排水対策	-----	2
(2) 伸縮目地の設置	-----	3
(3) 段上がり部の埋戻し	-----	3

## 1. コンクリート架台の施工留意点

- (1) 基礎地盤・・・・・・・・ 架台の基礎地盤は、一般的な擁壁と同様、十分な支持力のある地盤でなければなりません。設計図に示された床付け高さにおいて、必ず岩質とその支持力の判定を行い、架台を構築するのに十分な地盤であることを確認してください。計画された深さに岩盤や、支持地盤が現れない場合には、試掘などを行い、岩線の深さを確認します。十分な支持力のない地盤に架台を構築した場合は、盛土の不等沈下や、予期せぬ大きな変位につながる可能性がありますので、注意が必要です。



## 2. 基礎地盤の確認

- 掘削時に必ず基礎地盤が、架台設置に十分耐えうるような岩盤かを確認し、施工します。

## 3. コンクリート架台延長の確認

- コンクリート架台上でコーナー部や曲線区間があるときは、設計図に示されている設置延長に十分注意して下さい。架台の延長を誤ると、テールアルメ壁の設置ができなくなる場合があります。

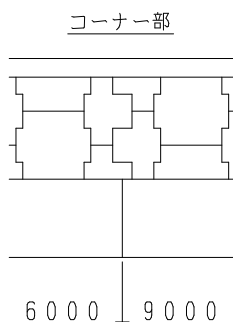


図-1 設計図の確認

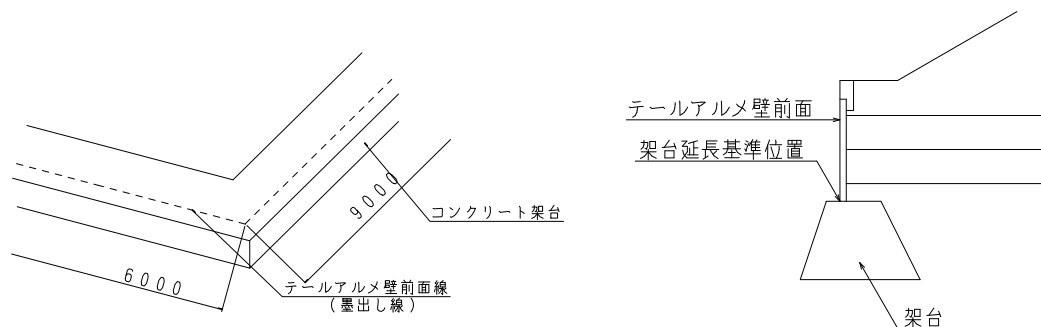
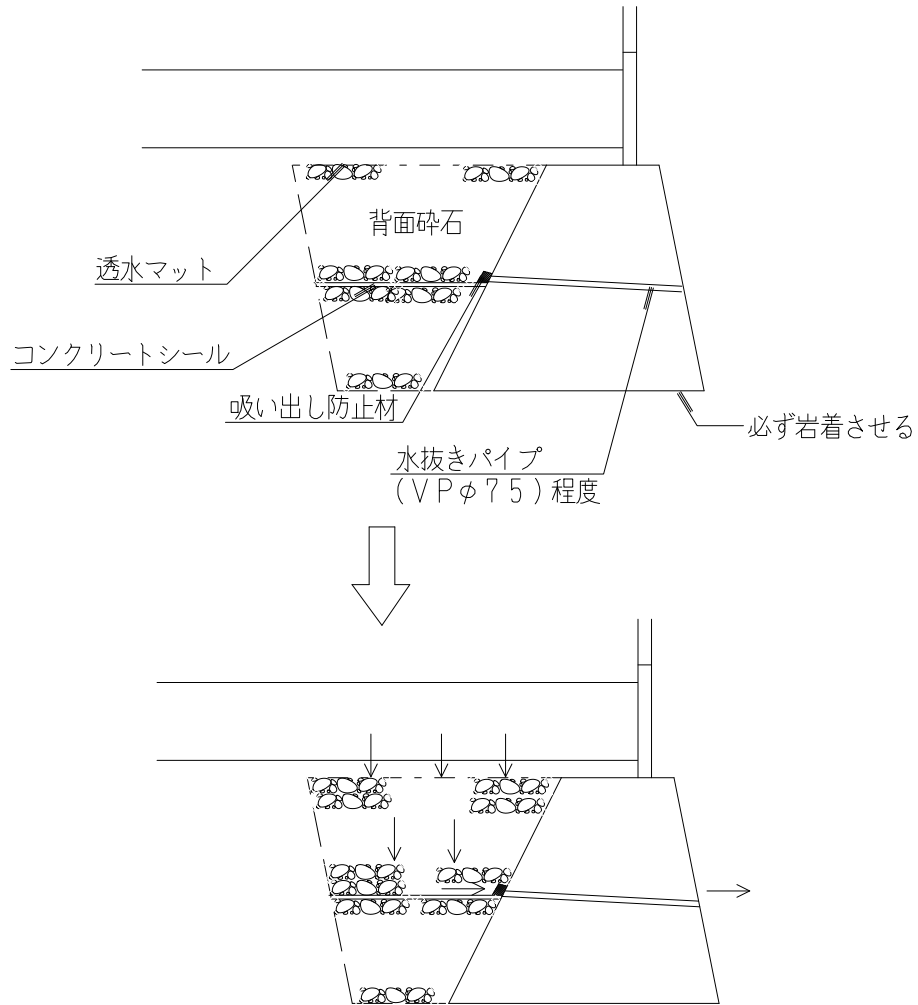


図-2 コンクリート架台の延長

## 4. 施工上の注意点

### (1) 排水対策

- 一般の擁壁と同様に、2～3 m<sup>2</sup>毎に1ヶ所水抜きパイプを設けます。その他架台背面には透水効果と圧縮沈下によるストリップの引込みを防止するため、背面砕石、吸水マット、コンクリートシール、吸水防止材を設置します。

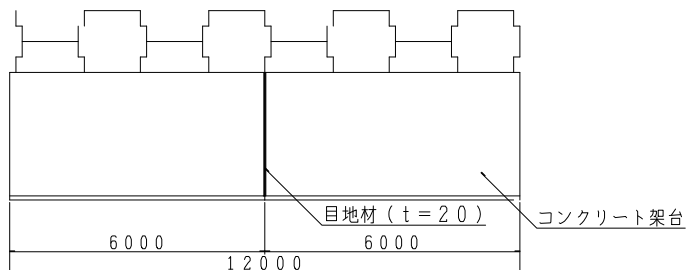


\* → は、水の流れを示す。

図-3 排水対策

(2) 伸縮目地の設置

- ・ コンクリート架台の伸縮目地は延長 10 m 以下の間隔で設置します (図-4)。目地材の厚さは、20 mm とします。また、段上りのある部分には、必ず伸縮目地を設置して下さい。(図-5)



\*等間隔に設置します。

図-4 伸縮目地の設置

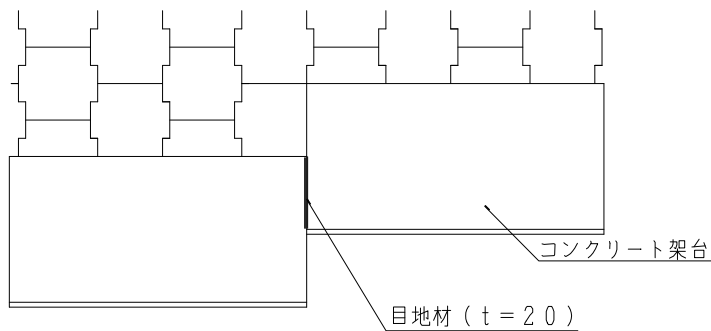


図-5 伸縮目地の設置 (段上り部分)

(3) 段上り部の埋戻し

- ・ 段上り部の埋戻しは、架台の不等沈下を防ぐため、コンクリートまたは、砕石にて埋戻します。

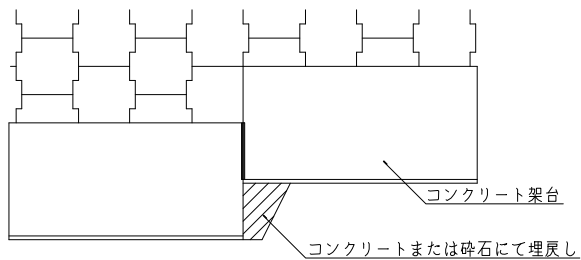


図-6 段上り部分の埋戻し